

操作のしくみと表示の見方 ◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

機種により形状は異なります。
本書の表示例はモジュール2248を使用しています（モジュール番号は時計本体裏面に刻印されています）。

時刻モード

<モジュール2248>

現在時刻の秒に連動して点灯/消灯を繰り返します。

①ボタン (ライト点灯)
②ボタン (12/24時間制切替)
③ボタン (モード切替)
④ボタン (午後マーク)

<モジュール2276>

<モジュール2278>

12/24時間制表示切替について
時刻モードで、④ボタンを押すごとに、12時間制表示（午前/午後“P”）と24時間制表示とが切り替わります。

曜日の見方
SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水
THU:木 FRI:金 SAT:土

ライト点灯について

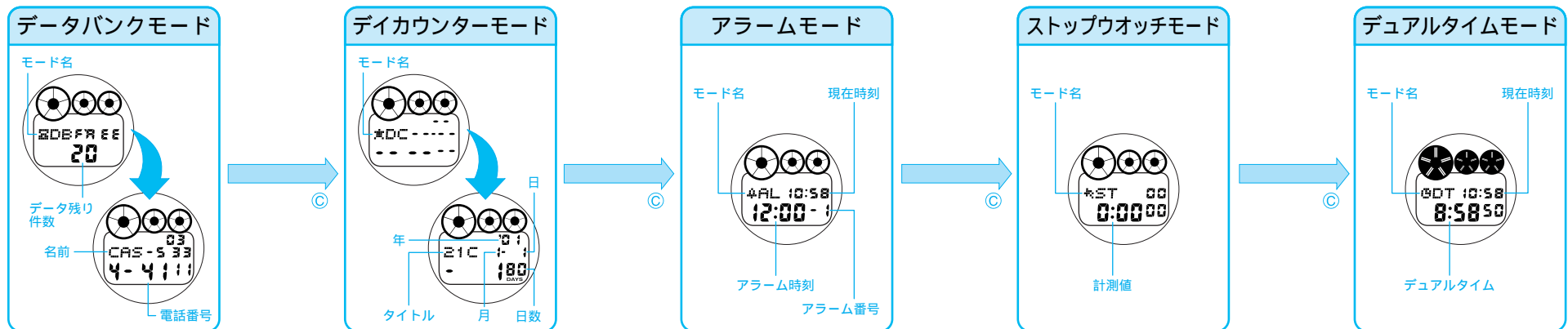
どのモードのときでも、①ボタンを押すと約3秒間文字板が発光します。



<ご注意>

直射日光下では、発光が見えにくくなります。
発光中に①ボタン以外のボタンを押したり、アラームなどが鳴ると発光を中断します。
発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

◎ データバンクモード、デイカウンターモードのまま2~3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

時刻・カレンダーのセット

(1) セット状態にする

時刻モードのとき、**(A)** ボタンを約2秒間押しします

⇒ 「秒」が点滅します。



(2) 「秒」合わせ...30秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて **(D)** ボタンを押しします

⇒ 「00秒」からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。



00秒になる

(3) サマータイム(DST)*のON/OFFを選ぶ

(C) ボタンを押しします

⇒ DSTマークと“ON”または“OF”が点滅します。

(D) ボタンを押しします

⇒ “ON”または“OF”が切り替わります。

“OF” = サマータイム OFF (通常時間)

“ON” = サマータイム ON (夏時間)

サマータイムをONにすると通常の時刻より1時間早まります。

サマータイムをONにすると時刻モード、デイクOUNTERモード、アラームモードでDSTマークが点灯します。

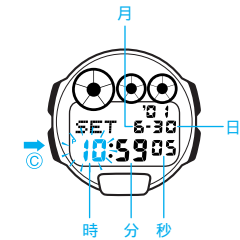
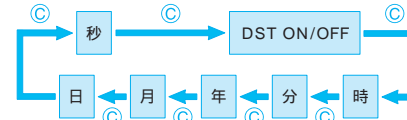
* サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分ご注意ください。



(4) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. **(C)** ボタンを押しします

⇒ **(C)** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. **(D)** または **(B)** ボタンを押しします

⇒ **(D)** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**(B)** ボタンを押すごとに戻ります。

(D)・**(B)** ボタンとも、押し続けると早送りします。



a. ~ b. の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

「時」のセットのとき午前/午後(P) または24時間制にご注意ください。

「年」は2000~2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) セットを終わる

(A) ボタンを押しします

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

データバンク機能の使い方

◎ ボタンを押して、データバンクモードにします。

データバンクモードでは、名前(8文字)と電話番号(12桁)のデータを最大25件メモリーできます。
データバンクモードに切り替えると、モード名(DB)とデータ残り件数を表示後、前回のモードで最後に見たデータを表示します。

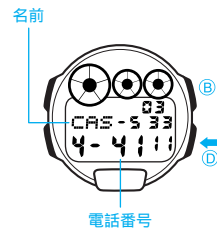
データを入力すると、名前順に並び替え(自動ソート*)が行なわれます。

*自動ソート...記憶されたデータは名前の先頭から比較し、アルファベット(A~Z)数字(0~9)記号(.-)の順で自動的に整理されます。

データを見る

データバンクモードのとき、①または②ボタンを押します

- ⇒ ① ボタンを押すごとにデータが順番に進み、② ボタンを押すごとに戻ります。
- ①・②ボタンとも、押し続けると早送りします。名前が4文字以上のときは、右から左に流れて表示されます(タイトルの最後に「◀」マークがつきます)



データを入力(修正)する

(1) 空きページ(修正ページ)を選ぶ

データバンクモードのとき、①または②ボタンを押して、空きページ(修正ページ)を表示させます

データがすでに25件メモリーされているときは不要なデータを消去しておいてください(「データを消去する」参照)。

<空きページ>



(2) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

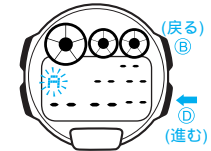


(3) 点滅箇所のセット

③または④ボタンを押します

⇒ ③ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字(数字)が進み、④ ボタンを押すごとに戻ります。

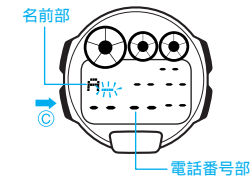
③・④ボタンとも、押し続けると早送りします。



(4) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前部1桁目~8桁目 電話番号部1桁目~12桁目 名前部1桁目...」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。押し続けると点滅箇所が早く移動します。



(3)~(4)の操作を繰り返して、データを入力していきます。

名前は最大8文字、電話番号は最大12桁まで入力できます。

入力できる文字は、名前部セットのときは(空白)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、記号(.-)で、電話番号部セットのときは-.、0~9、(空白)です。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します ⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

データを消去する

(1) ①または②ボタンを押して消去したいページを選びます

(2) Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ 名前部の1桁目が点滅します。

(3) ③ボタンと④ボタンを同時に押します

⇒ "CLR"表示後、データが1件消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。

(4) 消去が終わりましたら、Ⓐ ボタンを押します



デイカウンター機能の使い方 ◎ ボタンを押して、デイカウンターモードにします。

デイカウンターモードでは、タイトル（8文字）と年月日を5件メモリーでき、自動的に今日からの日数をカウントして表示します。
 デイカウンターモードに切り替えると、モード名（DC）を表示後、前回このモードで最後にモードで最後に見たデータを表示します。

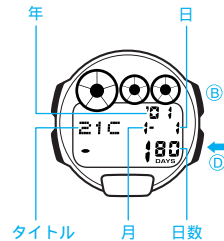
未来の予定日などを設定... 今日からの残日数を表示
 過去の記念日などを設定... 今日までの経過日数を -（マイナス）で表示

工場出荷時は、タイトルなし、2001年1月1日で5件ともメモリーされています。

メモリーを見る

デイカウンターモードのとき、**①** または **②** ボタンを押します

- ⇒ **①** ボタンを押すごとにデータが順番に進み、**②** ボタンを押すごとに戻ります。
 タイトルが4文字以上のときは、右から左に流れて表示されます（タイトルの最後に“◀”マークがつきます）。



タイトル、設定日のセット

(1) セットしたいページを選びます

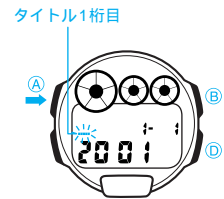
デイカウンターモードのとき、**①** または **②** ボタンを押します

- ⇒ **①** または **②** ボタンを押して、セットしたいページを選びます。

(2) セット状態にする

A ボタンを約2秒間押します

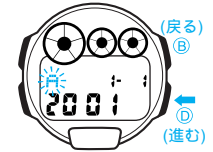
- ⇒ タイトルの1桁目が点滅します。



(3) 点滅箇所へのセット

① または **②** ボタンを押します

- ⇒ **①** ボタンを押すごとに点滅箇所の文字（数字）が進み、**②** ボタンを押すごとに戻ります。
①・**②** ボタンとも、押し続けると早送りします。

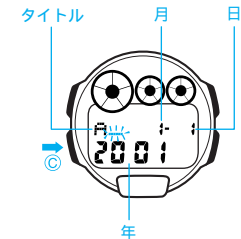


(4) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

- ⇒ **◎** ボタンを押すごとに点滅箇所が「タイトル1桁目～8桁目 年 月 日 タイトル1桁目...」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

押し続けると点滅箇所が早く移動します。
 表示が点滅しているときに **①** ボタンと **②** ボタンを同時に押すと、タイトルが消去（CLR表示）されて、今日の日付がセットされます。



(3)～(4)の操作を繰り返して、タイトル、設定日をセットします。

タイトルは最大8文字まで入力できます。入力できる文字は（空白）アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（. -）です。
 「年」は1940～2039年までセットできます。

(5) セットを終わる

A ボタンを押します ⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

設定した「月日」になると

時刻モードのカレンダーと設定した「月日」が一致すると、時刻モード、デイカウンターモードの該当ページ、デュアルタイムモードでDAYSマークが点滅して知らせてくれます。

<時刻モード>



アラーム・時報の使い方 ◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが5本あります。設定した時刻になると20秒間電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻のセット

(1) アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、**Ⓐ** ボタンを押します

⇒ 「アラーム1 2 3 4 5 時報 アラーム1・・・」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。



(2) セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します

⇒ 「時」が点滅します。アラームONマークが点灯して、自動的にアラームONになります。



(3) セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

⇒ **◎** ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(4) 点滅箇所のセット

Ⓐ または **Ⓑ** ボタンを押します

⇒ **Ⓐ** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、**Ⓑ** ボタンを押すごとに戻ります。

Ⓐ・**Ⓑ** ボタンとも、押し続けると早送りします。



(3)～(4)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」を合わせます。

「時」のセットのとき午前/午後(P)または24時間制にご注意ください。基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(5) セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

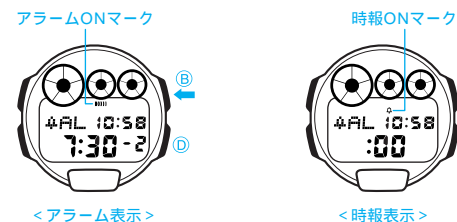
アラーム・時報のON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、**Ⓐ** ボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

Ⓑ ボタンを押します

⇒ **Ⓑ** ボタンを押すごとに、アラームONマークまたは時報ONマークが点灯/消灯を繰り返します。

それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

モニターアラーム

アラームモードのとき、**Ⓑ** ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

ストップウォッチの使い方 ◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

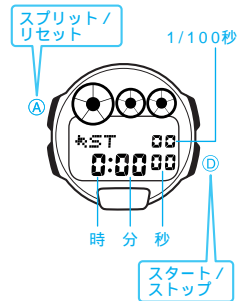
ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、**◎** ボタンを押します

⇒ **◎** ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

計測中に**Ⓐ** ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります(SPL表示)。計測終了後**Ⓐ** ボタンを押すと、計測値が0に戻ります(リセット)。



通常計測



スタート

ストップ

リセット

<積算計測>

ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに**◎** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

スプリットタイム(途中経過時間)の計測



スタート

スプリット計測

スプリット解除

ストップ

リセット

1・2着同時計測



スタート

1着ゴール
(1着タイム表示)

2着ゴール

2着タイム表示

リセット

デュアルタイムの使い方 ◎ ボタンを押して、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう一つの時刻をセットできる機能です。デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動して表示されます。基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

デュアルタイムの合わせ方

デュアルタイムモードのとき、**◎** または **Ⓐ** ボタンを押して、デュアルタイムを合わせます

⇒ **◎** ボタンを押すごとに30分ずつ数字が進み、**Ⓐ** ボタンを押すごとに30分ずつ戻ります。**◎**・**Ⓐ** ボタンとも、押し続けると早送りします。デュアルタイムは30分単位でセットできます。**Ⓐ** ボタンを押すと、基本時刻と同じ時刻でセットされます。

